

はじめよう経済学 小テスト

第9講 三面等価の原則

次の問いに答えなさい。ただし、【 】内に「計算過程」と書かれている場合は計算過程を記入しなさい。

1. 括弧内に入る適切な用語を書きなさい。

- ① (三面等価) の原則とは、統計上、(生産) 国民所得、(分配) 国民所得、(支出) 国民所得が常に等しくなることをいう。
- ② 支出国民所得は、消費、(投資)、(政府支出)、(純輸出) [=輸出－輸入]、(在庫品増加) の和で表すことができる。
- ③ 国民所得は、「生み出す」を意味する英単語 (Yield) の頭文字「Y」で表す。
消費は、英単語 (Consumption) の頭文字「C」で表す。
投資は、英単語 (Investment) の頭文字「I」で表す。
政府支出は、政府の英単語 (Government) の頭文字「G」で表す。
純輸出は、「純」を意味する英単語 (Net) の頭文字「N」と、輸出の英単語 (Export) の頭文字「E」から「NE」と表す。
また、輸入の英単語は (Import) である。
- ④ 国民所得 Y が 1 単位増加したときの消費 C の増加分を (限界消費性向) c という。また、 $C = cY + C_0$ を (ケインズ) 型消費関数といい、 C_0 は (基礎消費) という。ちなみに、国民所得に占める消費の割合を (平均) 消費性向 C/Y という。

2. 消費関数を $C = 10 + 0.9Y$ とするとき、次の問いに答えなさい。

(1) $Y = 500$ のとき、消費 C の値を求めなさい。

【計算過程】 $C = 10 + 0.9 \cdot 500 = 10 + 450 = 460$

$$C = 460$$

(2) 基礎消費 C_0 の値を示しなさい。

$$C_0 = 10$$

(3) 限界消費性向 c の値を示しなさい。

$$c = 0.9$$

(4) $Y = 500$ のとき、平均消費性向 $\frac{C}{Y}$ の値を求めなさい。

【計算過程】

(1)より、 $Y = 500$ 、 $C = 460$ であるので、 $\frac{C}{Y} = \frac{460}{500} = 0.92$ となる。

【別解】 $\frac{C}{Y} = \frac{10 + 0.9Y}{Y} = \frac{10}{Y} + 0.9 = \frac{10}{500} + 0.9 = 0.02 + 0.9 = 0.92$

$$\frac{C}{Y} = 0.92$$